

マイクリニック大久保

<http://www.myclinicohkubo.com/>

マイクリニック大久保DUO

<http://www.myclinicohkubo-duo.com/>



痔は多くの人が持つ『国民病』です

大人の3人に1人が悩んでいるといわれる「痔」。おしりの痛み、出血、脱肛などの痔は、日本では虫歯、近視と並んで頻度が高く三大国民病とまでいわれています。出血や痛みがあっても「手術が痛そう」「入院かもしれない」と受診をためらい、悪化することもあります。ところが、痔の半分以上を占める内痔核（いぼ痔）では切除しない注射による治療法（内痔核硬化療法ⅡALTA）が登場し、日帰りで対応するクリニックも増えていきます。今回、総合クリニックとしてあらゆる症状に対応したマイクリニック大久保と、今年5月藤枝に開院した「痔の日帰り治療専門クリニック」のマイクリニック大久保Duoの大久保雅之院長に内痔核硬化療法についてお聞きしました。



痔の種類と症状はどのようなものですか

痔は大きく分けて「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう（あな痔）」の3つの種類があります。この中で最も多いのが「痔核」で、全体の約8割を占めています。痔核は、肛門を閉じる役目をしているクッション部分が膨れて

大きくなった病気で、外からイボが見え、自分でさわることができない。自分では虫歯、近視と並んで頻度が高く三大国民病とまでいわれています。出血や痛みがあっても「手術が痛そう」「入院かもしれない」と受診をためらい、悪化することもあります。ところが、痔の半分以上を占める内痔核（いぼ痔）では切除しない注射による治療法（内痔核硬化療法ⅡALTA）が登場し、日帰りで対応するクリニックも増えていきます。今回、総合クリニックとしてあらゆる症状に対応したマイクリニック大久保と、今年5月藤枝に開院した「痔の日帰り治療専門クリニック」のマイクリニック大久保Duoの大久保雅之院長に内痔核硬化療法についてお聞きしました。

痔は多くの人が持つ『国民病』です。おしりの痛み、出血、脱肛などの痔は、日本では虫歯、近視と並んで頻度が高く三大国民病とまでいわれています。出血や痛みがあっても「手術が痛そう」「入院かもしれない」と受診をためらい、悪化することもあります。ところが、痔の半分以上を占める内痔核（いぼ痔）では切除しない注射による治療法（内痔核硬化療法ⅡALTA）が登場し、日帰りで対応するクリニックも増えていきます。今回、総合クリニックとしてあらゆる症状に対応したマイクリニック大久保と、今年5月藤枝に開院した「痔の日帰り治療専門クリニック」のマイクリニック大久保Duoの大久保雅之院長に内痔核硬化療法についてお聞きしました。

大きく分けて「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう（あな痔）」の3つの種類があります。この中で最も多いのが「痔核」で、全体の約8割を占めています。痔核は、肛門を閉じる役目をしているクッション部分が膨れて

大きく分けて「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう（あな痔）」の3つの種類があります。この中で最も多いのが「痔核」で、全体の約8割を占めています。痔核は、肛門を閉じる役目をしているクッション部分が膨れて

大きく分けて「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう（あな痔）」の3つの種類があります。この中で最も多いのが「痔核」で、全体の約8割を占めています。痔核は、肛門を閉じる役目をしているクッション部分が膨れて

大きく分けて「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう（あな痔）」の3つの種類があります。この中で最も多いのが「痔核」で、全体の約8割を占めています。痔核は、肛門を閉じる役目をしているクッション部分が膨れて

切らずに注射で治す 内痔核硬化療法

〔ALTA (アルタ) 療法〕

痔の日帰り手術、
内痔核硬化療法とは

内痔核の治療法というと手術で患部を切り取るという痛いイメージがあると思います。しかし、最近ではメスを使わず、注射だけで行う痔の治療法が注目されています。薬液を痔核部分に注射することにより、短時間で、しかも低侵襲に治療する内痔核硬化療法（ALTA療法）です。

ALTA療法は、注射をするだけで内痔核に無菌性の炎症を起こし、痔核への血流を遮断し出血を止め、脱出していた痔核を元の位置に縮小・固定させます。術後の痛みや出血が少なく、治療後、1時間程度で帰宅すること

ALTA療法は、注射をするだけで内痔核に無菌性の炎症を起こし、痔核への血流を遮断し出血を止め、脱出していた痔核を元の位置に縮小・固定させます。術後の痛みや出血が少なく、治療後、1時間程度で帰宅すること

Interview 院長に聞く



院長 大久保 雅之

1992年、金沢大学医学部卒業。静岡済生会総合病院、碧南市市民病院などで消化器外科、一般外科、乳癌外科に携わる。名古屋大学医学部第二外科教室で肝胆膵外科の治療に携わり、胆管の解剖についての論文で博士号取得。2009年にマイクリニック大久保リニューアル開院。12年にマイクリニック大久保Duo新規開院。日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、日本外科学会認定外科専門医。

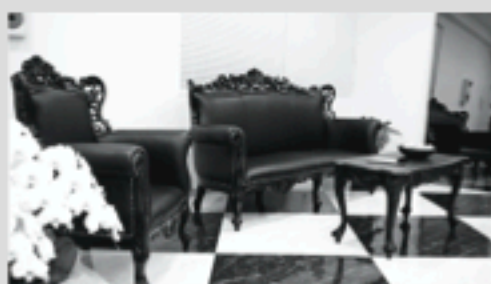
マイクリニック大久保

診療科目 消化器外科・肛門外科・内科・小児科
所在地 静岡市葵区川合2丁目1-20
電話 054-263-5558
診療時間 8:30~12:00
15:00~18:00
休診日 日・祝日、木・土曜日午後
交通 静鉄バス 東部団地
瀬名新田(61) 則沢 清水駅 行き
停留所：川合バス停 下車徒歩3分



マイクリニック大久保Duo

診療科目 肛門外科
所在地 藤枝市前島1丁目7番3号BE1ビル4F (JR藤枝駅前南口前)
完全予約制予約受付電話 054-634-2222
診療時間
月・火・水 14:00~18:00 再診のみ
木 9:00~13:00 14:00~18:00
初診・再診
土 9:00~13:00 初診・再診



痔は多くの人が持つ『国民病』です。おしりの痛み、出血、脱肛などの痔は、日本では虫歯、近視と並んで頻度が高く三大国民病とまでいわれています。出血や痛みがあっても「手術が痛そう」「入院かもしれない」と受診をためらい、悪化することもあります。ところが、痔の半分以上を占める内痔核（いぼ痔）では切除しない注射による治療法（内痔核硬化療法ⅡALTA）が登場し、日帰りで対応するクリニックも増えていきます。今回、総合クリニックとしてあらゆる症状に対応したマイクリニック大久保と、今年5月藤枝に開院した「痔の日帰り治療専門クリニック」のマイクリニック大久保Duoの大久保雅之院長に内痔核硬化療法についてお聞きしました。